

用途別の課題の整理

- 第1回ワークショップで皆様からいただいたご意見を8つの視点で整理し、まちづくりや公共施設全般に関わる課題と、個別の用途ごとに関わる課題に分けてまとめました。

1. まちづくりや公共施設全般の課題

- まちづくりや公共施設全般に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る (拠点づくり、魅力づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区によっては人口の減少や高齢化が進んでいる。 ● 人口減少により地域の催しが成り立たなくなっている。 ● 地域経済が停滞してきている。 ● 空き地や空き家が増えてきている。 ● 多世代が交流できるスペースが不足している。 ● 県外など地域外から人が集まるという視点で整備された施設がない。 ● レジャー施設が魅力的な施設となっていないので、他地域に人が流れている。
アクセス性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内で交通利便性に差があり、生活圏が異なる。 ● 公共交通が充実していない。
子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを安心して育てられる環境が整っていない。 ● 公園などが十分に管理されていない。
学校教育環境を適正化する	(該当意見なし)
安全性を確保する	(該当意見なし)
将来負担を縮減する	<ul style="list-style-type: none"> ● すでに機能が廃止された施設で、十分に活用されていない公共施設がある。
必要機能を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● スーパーやドラッグストアがなく買い物が不便である。 ● 施設の機能が利用者のニーズにあっていない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用率が低い施設が多い。 ● 地域内の公共施設は利用ニーズにあっていないので、若い世代はほとんど利用していない。

2. 市民文化系施設（集会施設）

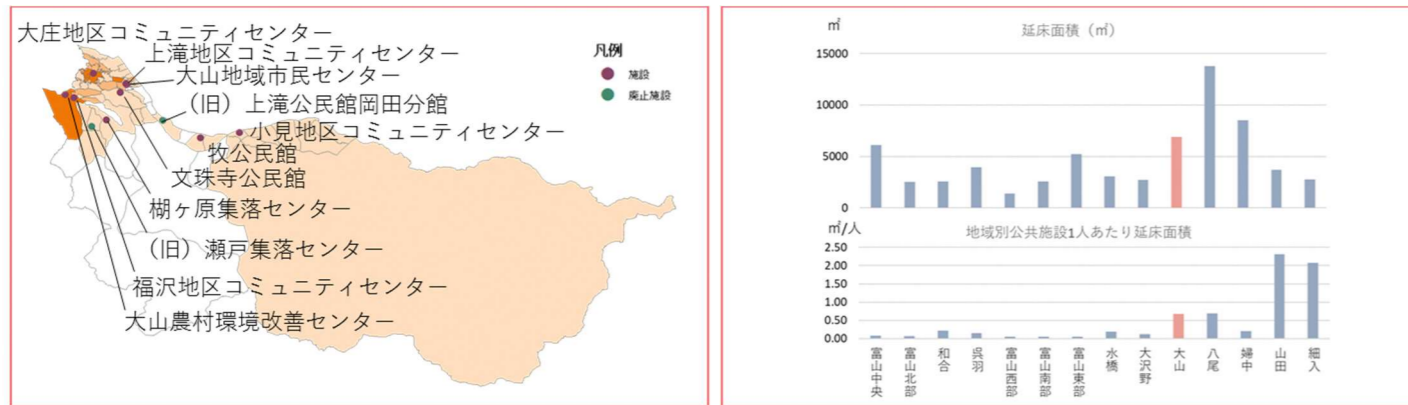
（1）課題

- 市民文化系施設のうち、集会施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● 部屋の規模がニーズにあっていない。（100人規模で集まれる部屋がない。） ● 使い勝手の悪い部屋の空きが目立つ。 ● 公民館には調理室がなく、地域内で利用できる場所も限られている。
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 集会施設は11施設あり、各地域に分布しています。同一の小中学校区の中に複数の施設があるところもあります。
- 築30年以上が経過している施設5施設あり、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 稼働率は1施設を除いて富山市平均より低く、5%を下回るなどほとんど利用されていない施設もあります。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	稼働率 (%)	利用人数 (人)	避難所	対象
公民館	上滝地区コミュニティセンター(上滝公民館)	563.17	16	12.0	11,434	—	●
公民館	大庄地区コミュニティセンター(大庄公民館)	1,084.57	12	26.7	23,948	—	●
公民館	小見地区コミュニティセンター(小見公民館)	678.00	13	6.3	3,885	—	●
公民館	福沢地区コミュニティセンター(福沢公民館)	704.74	19	14.2	4,248	—	●
公民館	文珠寺公民館	423.05	37	6.1	2,150	●	●
公民館	牧公民館(牧地区コミュニティセンター)	482.38	39	2.3	1,048	●	●
公民館	(旧)上滝公民館岡田分館	154.71	32	—	—	●	—
公民館	(旧)瀬戸集落センター	125.87	25	—	—	●	—
その他集会施設	大山地域市民センター	1,593.69	53	8.8	7,267	—	●
その他集会施設	榎ヶ原集落センター	89.40	26	6.6	171	●	—
その他集会施設	大山農村環境改善センター	1,016.02	39	13.7	614	●	●
富山市平均		633.77	—	15.5	—	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
集会施設	公民館	① 将来にわたって利用率等の改善が見込まれないことが予想される施設は、公民館等の連携を念頭に置き、住民にとって利用しやすい施設として、小中学校区に1か所の配置を目指し、集約を図る。
		② 小中学校区に変更があった場合、既存の利用者に配慮し、10年間の経過措置を設ける。
		③ 児童生徒が減少している一定以上の規模をもつ学校において、余裕教室や敷地の一部を活用して集会施設を移転整備するなど、小中学校との複合化・多機能化を検討する。学校内部の特別教室（音楽室・調理室等）や図書館の地域開放も検討する。不特定多数の方が校舎内に入出入りする際には、安全性の確保、教育への支障排除について十分な措置を行う。
		④ 新耐震基準を満たしておらず耐震化することが求められている施設、利用に著しい支障をきたしている箇所について、集会施設全体で群として優先順位を定めた上で、改修や改築を進めていく。また、他の施設との公平性や維持管理費の観点から過剰と思われる規模、仕様、設備等となっている場合は、改修の際などにそのあり方の見直しを行う。
	その他集会施設	⑤ 公民館の改築・新築にあたっては、人口規模に応じた建設規模基準を設けている。この基準を超えた規模の公民館を設置する要望等がある場合には、社会教育委員の審議を経て、公民館の規模を決定する。
		⑥ 中山間地域など人口減少が著しい地域における公民館等の改築に際しては、空き家等の借上げ方式を検討する。
		⑦ 利用者の利便性向上に向け、地域で運営することにより、地域コミュニティとより密接な連携が図れると考えられる場合は、地元団体への管理運営委託等、運営体制の見直しを行う。

3. 市民文化系施設（文化施設）

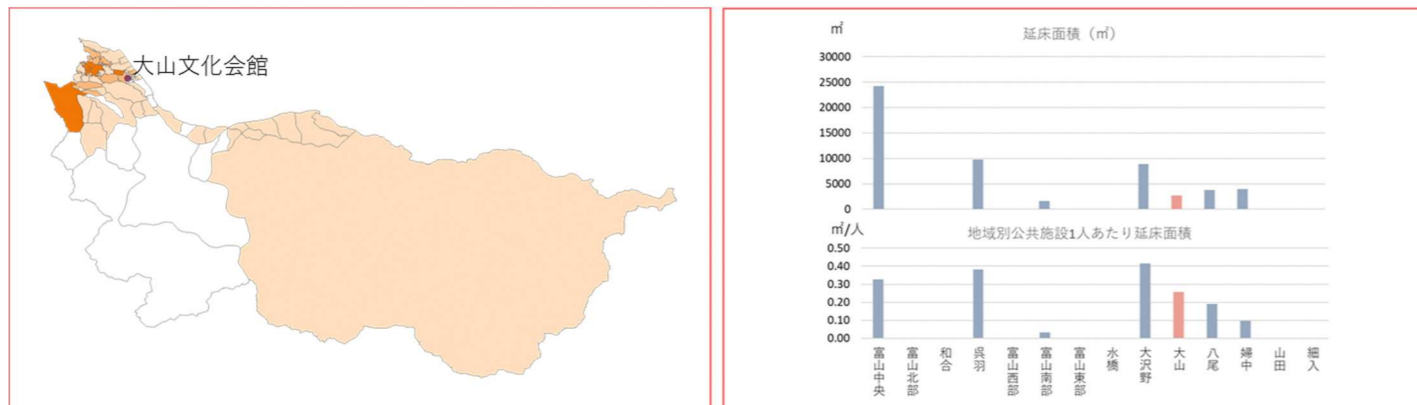
（1）課題

- 市民文化系施設のうち、文化施設（ホール）に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	● （文化会館が廃止されると）住民の文化、芸術活動のための場が不足する。
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	● （文化会館が廃止されると）成人式などの大人数が集まることができないスペースがない。
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 文化施設は、大山文化会館 1 施設のみですが、今年度末廃止となる予定です。
- 稼働率は富山市平均と比較して非常に低く、近年はほとんど利用されていない状況となっています。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	稼働率 (%)	利用人数 (人)	避難所	対象
ホール	大山文化会館	2,658.48	38	3.3	6,194	(洪水)緊急避難所	●
富山市平均		7,205.56	-	22.4	-	-	-

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
文化施設	ホール	<p>① 富山市芸術文化ホールは、今後も市の中核的な文化施設としての役割を果たしていくため、存続させることとする。あわせて定員に対する稼働率を高める工夫を行う。</p> <p>② 大沢野文化会館は、平成28年度末に廃止し、隣接の「大沢野生涯学習センター」や「大久保ふれあいセンター」を代替施設として利用する。</p> <p>③ 大山文化会館は、施設の老朽化や耐震性の不足、利用率の低さなどから、平成30年度末でホール棟は使用を廃止（図書館棟は使用を継続）することとしている。小規模な行事については近隣の代替施設を活用し、入場者の多い演奏会等については、市内の他のホールを活用する方針である。ホール棟は廃止前に大規模な修繕等が必要となった場合には、休止することもあり得るが、それまでの間は事業を継続する。</p>
	その他文化施設	<p>④ その他のホールは、その将来的な存続や規模のあり方について、地域のなかでの役割、周辺の類似施設との連携等の視点から検討していくこととするが、稼働率の低下している施設は、廃止や民間への譲渡も視野に入れて検討を行う。</p> <p>⑤ 継続して保有する施設については、中長期的な改修計画に基づき、施設及び各種設備の劣化状況や利用頻度等も勘案し、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。特に舞台照明や音響機器など大きな費用を要する改修については、その費用対効果を慎重に検討して実施する。</p> <p>⑥ 演劇・能・茶道など特定の活動を行うことを主目的とする空間であっても、利用されていない時間帯などに、集会やイベントなど当該目的以外の活動も許可するなど、施設の稼働率の向上を図る工夫を行う。</p>

4. 社会教育系施設（図書館・博物館等）

（1）課題

- 社会教育系施設のうち、図書館に関する課題を整理しました。

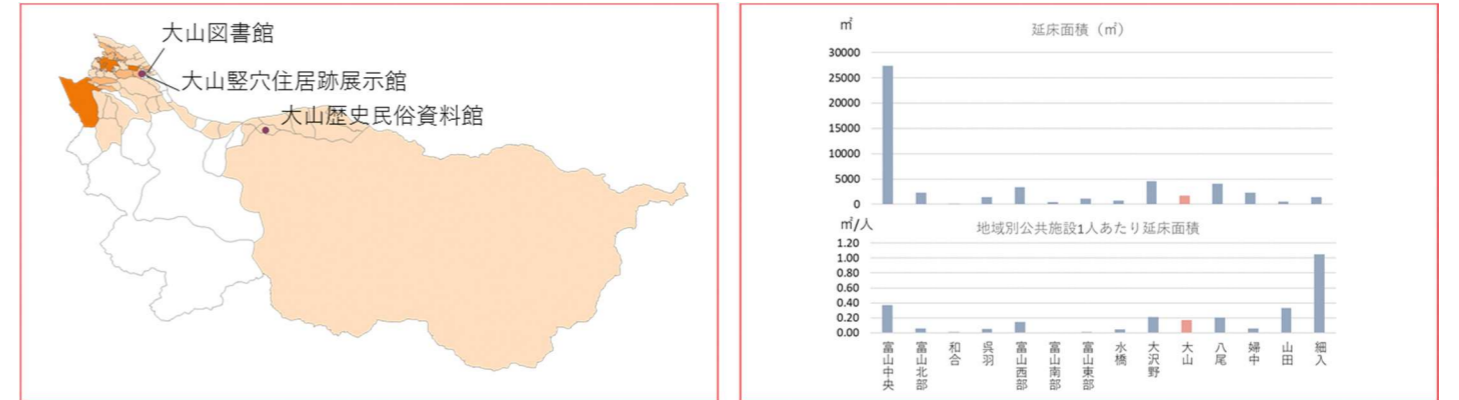
視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	● 子育て世代、多世代が利用できる施設が不足している。
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

- 社会教育系施設のうち、博物館等に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	● 来館者が少ない。今後も増加も見込めない。

（2）公共施設の状況

- 大山図書館と大山竪穴住居跡展示館は上滝駅の近隣に立地、大山歴史民俗資料館は小見小学校区（亀谷）、白樺ハイツの近くに立地しています。
- 大山図書館と大山歴史民俗資料館は築30年以上経過しています。大山図書館は文化会館の複合施設となっています。
- 大山歴史民俗資料館は年間利用者数が約1,000人であり、1日あたりの利用者数は数人程度と非常に少ない状況となっています。



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (平成30年度)	利用人数 (人)	避難所	対象
図書館	大山図書館	855.00	38	17,179	—	●
富山市平均		655.74	—	29,319	—	—
博物館等	大山竪穴住居跡展示館	90.00	23	—	—	●
博物館等	大山歴史民俗資料館	806.72	35	1,452	—	●
富山市平均		17,377.91	—	17,378	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
図書館	図書館	① 本館、とやま駅南図書館、こども図書館については、図書事業の中核拠点として引き続き運営を継続する。
		② 地域館・分館の将来的な存続や規模のあり方については、利用度並びに地域バランス、地区センターや公民館、コミュニティセンター、学校図書館等との連携等を踏まえ、適正配置に向けて検討するとともに、併設施設との関係性も考慮しながら、廃止や統合も視野に入れた見直しを行う。
		③ 存続することとなった図書館は、入居している地区センターや公民館等の改修計画に基づき、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。
博物館等	博物館等	① 利用の少ない施設については、文化や歴史の振興・保存の観点も踏まえつつ、廃止や他の施設との統合・複合化も視野に入れたあり方についての見直しを行う。
		② 利用者の安全性確保や長寿命化のための改修は計画的に実施していくこととする。またそれ以外の改修に際しては、展示内容の魅力の向上や利用増につながるものであるかを勘案した上で、費用対効果をあげる投資としていく必要がある。
		③ 入館料のあり方について検討を行う。利用者の利便性向上に向け、運営体制の効率化について検討を行う。また、展示内容の見直しや季節による営業体制の見直し等を検討する。

5. スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）

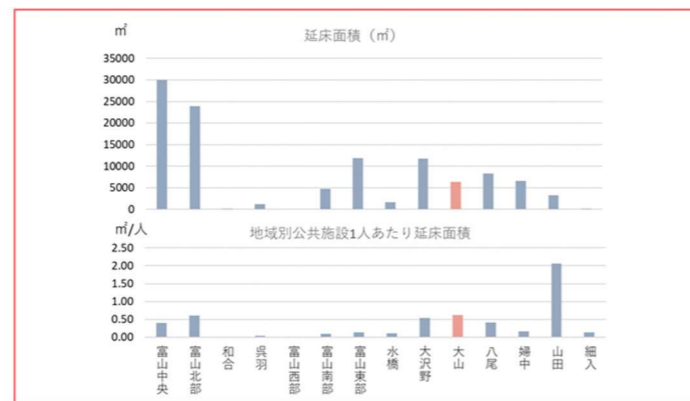
（1）課題

- スポーツ・レクリエーション系施設のうち、スポーツ施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 大山地域には体育館3施設、プール1施設、武道館1施設が立地しています。
- 大山総合体育センターを除いて築30年以上経過していて、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 体育館の利用人数は富山市平均と比較すると少なく、富山市平均の5%未満の施設もあり、ほとんど利用されていない状況となっています。



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (平成30年度)	利用人数 (人)	避難所	対象
体育館	大山社会体育館	2,035.99	47	34,132	●	●
体育館	大山B&G海洋センター(体育館)	1,102.28	36	2,241	●	●
体育館	(旧)牧体育館	491.30	40	—	—	●
富山市平均		3,931.02	—	57,356	—	—
プール	大山B&G海洋センター(プール)	958.36	36	—	—	●
富山市平均		1,261.08	—	—	—	—
武道館	大山総合体育センター	1,777.32	22	20,999	●	●
富山市平均		814.27	—	10,683	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
スポーツ施設	体育館	① 利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来にわたって改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。
	プール	② 特に、体育館については、(1)市内全域を対象とし、大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設 (2)複数地域を対象とし、スポーツ大会が実施できる施設 (3)地域を対象とし、サークルスポーツ活動が実施できる施設 の3層構造に再編するとともに、(1)と(2)については、引き続き市所有として存続させ、(3)については、老朽化にあわせて、そのあり方についての見直しを行う。
	武道館	
	野球場	
	陸上競技場	④ 利用形態や利用頻度を勘案し、改修等の優先順位付けを行い、中長期的な改修計画を策定するとともに、利用者の安全性と利便等を考慮した適切な施設改修・設備更新を実施する。
	運動広場	⑤ 利用者の利便性向上に向け、予約方法や利用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。

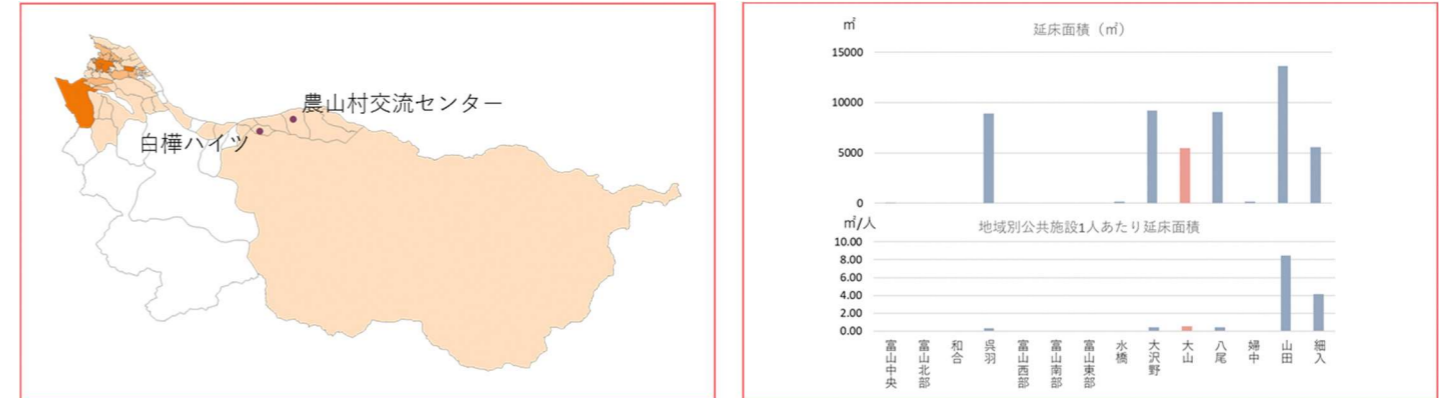
6. スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設・宿泊入浴施設）

- スポーツ・レクリエーション系施設のうち、観光施設・宿泊入浴施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	<ul style="list-style-type: none"> ● スキー場は大山地域の魅力であるが、その魅力を活かしきれていない。 ● 観光の目玉として（レクリエーション・観光施設）が機能していない。
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（1）公共施設の状況

- レクリエーション・観光施設は2施設あり、それぞれ、スキー場や温泉といった特徴的な地域に立地しています。
- 利用者数は一定程度ありますが、老朽化が進んでいる施設もあります。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	利用人数 (人)	避難所	対象
観光施設	農山村交流センター	1,727.26	20	55,244	—	●
富山市平均		1,075.79	—	49,577	—	—
宿泊・入浴施設	白樺ハイツ	3,729.31	42	52,353	—	●
富山市平均		3,436.99	—	86,670	—	—

（2）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
レクリエーション・観光施設	観光施設	① 収益性が高く、行政が運営をしなくても支障のない施設については、民間に事業移管することを検討する。
		② 観光施設は、他の分野に比べ、民間事業者が参入しやすい分野であり、民間に積極的に事業移管を行う。なお、民間への事業移管が困難な施設のうち、行政目的の高い施設は、運営の効率化を進め、引き続き維持していく。それ以外の施設については廃止を推進する。
		③ 宿泊・入浴施設は、民間への事業移管が困難なものは廃止する。廃止の際には民間類似施設の利用補助を行うなど代替手段を検討する。
	宿泊・入浴施設	④ 利用者の安全性の確保のための改修は実施していくが、利用者の利便性や機能性を向上させるための改修については、利用ニーズを見定めた上で費用対効果の高いものを中心に実施していく。
		⑤ 利用者の利便性向上に向け、条例等の改正を行い、利用料金や利用時間の弾力化を行うとともに、民間のノウハウや経営手法を活用できるように運営体制の見直しの検討をする。民間運営が可能な施設については、民間への事業移管を積極的に推進する。
		⑥ 健康増進及び介護予防など社会的に今後重要となる機能を強化し、レクリエーション機能の縮小を図る。

7. 学校教育施設

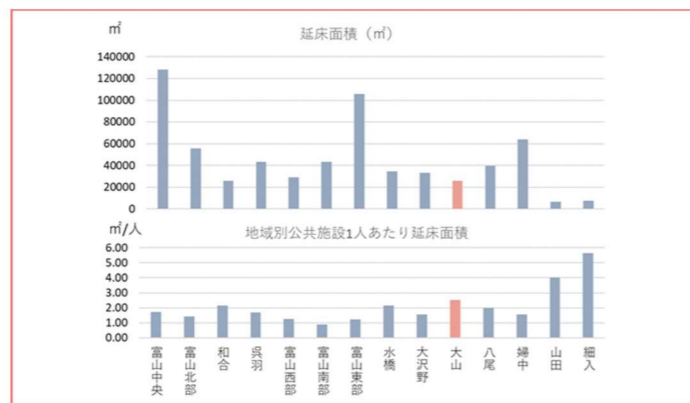
(1) 課題

- 小学校・中学校に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る (拠点づくり、魅力づくり)	● (統廃合した場合) 地域コミュニティの場が不足する。
アクセス性を確保する	(用途特有の意見なし)
子育て環境を充実させる	(用途特有の意見なし)
学校教育環境を適正化する	● 児童数が減少している。 ● (居住地にかかわらず) 小学校を選択できる仕組みなど多様な教育を選択できる仕組みがない。
安全性を確保する	● (統廃合した場合) 通学時の安全性や利便性の確保が現在よりしにくくなる。 ● (統廃合した場合) 避難所としての機能が不足する。 ● エアコンが設置されていないなど、環境整備が不十分である。
将来負担を縮減する	(用途特有の意見なし)
必要機能を確保する	(用途特有の意見なし)
その他	(用途特有の意見なし)

(2) 共施設の状況

- 大山地域には、小学校4校、中学校1校が立地しています。
- いずれの施設も築30年以上経過しており、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 児童数が少ない小学校では、複式学級が発生しており、適正な規模のもと教育を受けることが難しい環境にあります。



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (平成30年度)	児童・生徒数 (平成29年5月) (人)	避難所	対象
小学校	上滝小学校	6,539.00	38	99	●	●
小学校	大庄小学校	6,578.42	33	267	●	●
小学校	福沢小学校	3,217.67	34	32	●	●
小学校	小見小学校	3,197.24	36	21	●	●
富山市平均		6,462.71	-	-	-	-
中学校	上滝中学校	6,392.00	44	279	●	●
富山市平均		8,095.24	-	-	-	-

(3) 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (富山市公共施設等総合管理計画から抜粋)

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (方向性)
中分類	小分類	
学校	小学校	① 将来の人口推計からも、面積は維持又は縮小し、適正規模の学校に向け、再編を検討する必要がある。大きく児童生徒数の減少が見込まれる施設については、文部科学省が平成27年1月27日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえ、再編に取組み、規模の縮小や統合を積極的に進めることとする。
		② 児童生徒数の減少やスペースの有効活用により、集会施設等の他用途との複合化・多機能化を検討する。複合化・多機能化にあたっては児童生徒の安全性を確保するとともに、教育活動の支障のない範囲で行うこととする。また地域コミュニティの核としての学校の役割を鑑み、地域の方々の意見も取り入れることとする。
	中学校	③ 安心・安全な教育環境の確保のため、引き続き、施設及び各種設備の劣化状況により適時適切な施設改修・設備更新を実施する。施設の数が多いため、学校別に一律に実施するのではなく、対策が必要な棟について、何棟かまとめて対策別の工事計画を定めることとする。
		④ 耐震化工事を最優先で実施する。老朽化したものについては、大規模改造により長寿命化を図る。改築は基礎の劣化等により、大規模改造が困難な場合のみ行う。

8. 子育て支援施設

(1) 課題

- 保育所・幼稚園に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る (拠点づくり、魅力づくり)	(用途特有の意見なし)
アクセス性を確保する	(用途特有の意見なし)
子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 園児数(子どもの数)が減少している。 ● 子どもを安心して育てられる環境が整っていない。
学校教育環境を適正化する	(用途特有の意見なし)
安全性を確保する	(用途特有の意見なし)
将来負担を縮減する	(用途特有の意見なし)
必要機能を確保する	● 大山には児童館がなく、現在の子育て支援センターは手狭である。
その他	(用途特有の意見なし)

(2) 公共施設の状況

- 大山地域には保育所が2箇所、幼稚園が3園あり、各小学校区に1施設は立地しています。
- 上滝幼稚園は既に廃止された施設です。
- 幼稚園は築30年以上が経過しており、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 1人あたりの延床面積は他地域と比較して4番目に多く、子どもの減少と相まって、今後空き室が発生してくる可能性があります。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
保育所	大山中央保育所	497.79	29	(洪水)緊急避難所	●
保育所	福沢保育所	265.28	28	—	●
富山市平均		701.39	—	—	—
幼稚園	(旧)上滝幼稚園	740.13	43	—	●
幼稚園	大庄幼稚園	498.58	35	(洪水)緊急避難所	●
幼稚園	小見幼稚園	509.33	31	—	●
富山市平均		746.73	—	—	—

(3) 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (富山市公共施設等総合管理計画から抜粋)

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (方向性)	
中分類	小分類		
幼保・こども園	保育所	①	保育の効率的なサービス提供のため、中長期的な入所児童数の見込の把握に努め、ニーズの高い地域では、改築等の際に定員増を図る一方、地域によっては、保育所の統廃合を検討していく必要がある。また、引き続き、民営化を進めていく。
	幼稚園	②	幼稚園については、私立幼稚園の配置状況や定員状況を勘案しながら、ニーズを踏まえ、統合を進めていく。
	認定こども園	③	入所希望児童が増加傾向にある地域や施設については、改築・改修時に定員数を増やしていく。

9. 保健・福祉施設

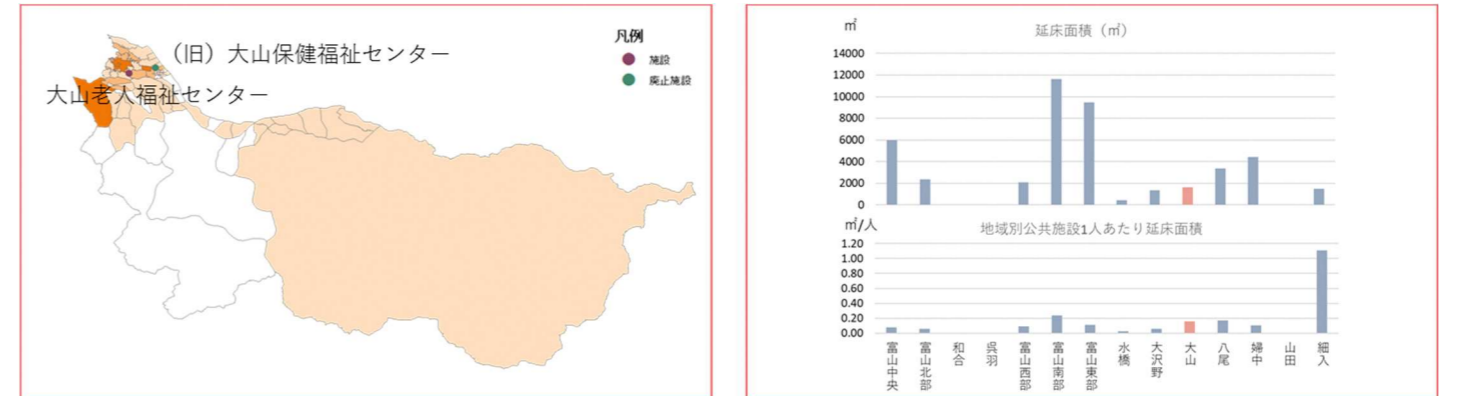
(1) 課題

- 老人福祉センター・保健施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る (拠点づくり、魅力づくり)	(用途特有の意見なし)
アクセス性を確保する	(用途特有の意見なし)
子育て環境を充実させる	(用途特有の意見なし)
学校教育環境を適正化する	(用途特有の意見なし)
安全性を確保する	(用途特有の意見なし)
将来負担を縮減する	(用途特有の意見なし)
必要機能を確保する	(用途特有の意見なし)
その他	(用途特有の意見なし)

(2) 公共施設の状況

- 保健・福祉施設として、老人福祉センターがあり、一定程度の利用者がいます。
- いずれの施設も築40年以上経過しており、老朽化が進んでいる施設もあります。



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (平成30年度)	利用人数 (人)	避難所	対象
老人福祉センター	大山老人福祉センター	1,038.39	41	22,047	(洪水)緊急避難所	●
富山市平均		848.16	-	26,900	-	-
保健施設	(旧)大山保健福祉センター	569.81	41	-	-	●
富山市平均		2,869.81	-	55,159	-	-

(3) 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (富山市公共施設等総合管理計画から抜粋)

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (方向性)	
中分類	小分類		
高齢者福祉施設	老人福祉センター	①	老人福祉センター等は、当面は高齢者人口の増加が見込まれるが、平成50年代前半をピークに、高齢者人口も減少に転じることが予想されていることや、高齢者のニーズも多様化してきていることなどを踏まえ、施設の更新は行わないこととする
	高齢者福祉施設	②	施設の見直し方針の検討中は、利用者の安全性と利便等を考慮した範囲内で、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。
		③	利用者の利便性向上に向け、運営体制の見直しを検討するとともに、民間のノウハウを活用しながら、サービス水準の向上や、運営の効率化を図る。
保健施設	保健施設	①	合併前の旧市町村の枠組みを基本としていた保健福祉センターについて、将来の世代別の人口推計を踏まえ、適正な規模や配置のあり方を検討し、検診等は他の施設で実施するなど、必要なサービス機能を維持しながら再編を進めることとする。
医療施設	医療施設	②	中長期的な改修計画に基づき、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。

10. 行政系施設

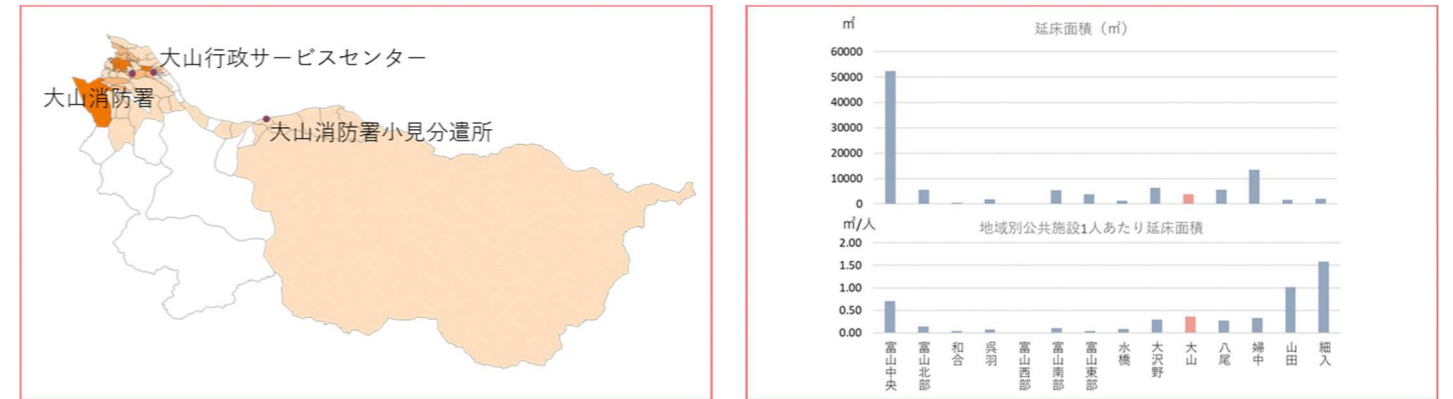
(1) 課題

- 庁舎等に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る (拠点づくり、魅力づくり)	(用途特有の意見なし)
アクセス性を確保する	(用途特有の意見なし)
子育て環境を充実させる	(用途特有の意見なし)
学校教育環境を適正化する	(用途特有の意見なし)
安全性を確保する	(用途特有の意見なし)
将来負担を縮減する	(用途特有の意見なし)
必要機能を確保する	(用途特有の意見なし)
その他	(用途特有の意見なし)

(2) 公共施設の状況

- 大山行政サービスセンターは上滝駅の近隣にあり、比較的利便性の高いところに立地していますが、築60年以上経過しており老朽化が進んでいます。



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
支所	大山行政サービスセンター	2,063.77	61	—	●
富山市平均		3,443.01	—	—	—
消防署	大山消防署	1,487.26	34	—	—
富山市平均		1,848.59	—	—	—
消防分署	大山消防署小見分遣所	245.11	12	—	—
富山市平均		512.90	—	—	—

(3) 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (富山市公共施設等総合管理計画から抜粋)

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 (方向性)
中分類	小分類	
庁舎等	本庁舎	① 本庁舎については、適切な改修を実施し、存続させる。 ② 行政サービスセンター、中核型地区センターは、もともと合併前の旧町村の本庁舎として利用されていた建物であり、比較的大きな施設である。合併後の組織体制変更に伴い建物のスペースに余剰が発生しているものがあることや施設自体の老朽化が進んでいることから、将来的には、適正な規模の建物へと面積の縮減を図るとともに、市民の利便性を向上させるよう複合化を図る。
	支所	
	事務所	